

杉並区環境基本計画
実施状況報告書

【平成 17 年度版】



杉並区

■ 目 次 ■

環境基本計画からの抜粋

私たちの4つの挑戦	2
-----------------	---

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標1 持続的発展が可能なまちをつくる	4
基本目標2 健康と暮らしの安全を守るまちをつくる	5
基本目標3 自然環境が保全され、さまざまな生き物が生息できるまちをつくる ...	7
基本目標4 魅力ある快適なまちなみをつくる	10
基本目標5 区民、事業者、区が、ともに環境を考え、行動するまちをつくる	12

「計画施策・事業」の一覧

計画施策・事業の一覧	13
------------------	----

私たちの4つの挑戦

「環境先進都市 杉並区」を目指すため、私たちは、今、取り組むべき課題として、以下の4つの挑戦をします。これは、区民・事業者・行政がNPOの参加も得て、協働して実行する挑戦です。

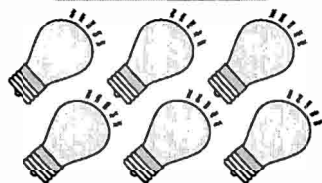
1

二酸化炭素の排出量について、2010年度までに1990年度比で2%の削減を目指します

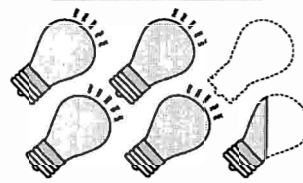
私たちは地球温暖化を防止するため、省エネルギーの取組みを推進し、区内におけるエネルギー消費に伴う二酸化炭素(CO₂)の排出量を2010年度(平成22年度)までに1990年度比で2%*削減します。

わが国では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの約9割を二酸化炭素が占めています。

現状値(平成12年度)



目標値(平成22年度)



区内の二酸化炭素排出量

(主にエネルギー消費に伴う排出量) 1,718千t-CO₂

1990年度比で2%削減

具体的取組みの例	区民は	事業者は	行政は
	<ul style="list-style-type: none"> ●電気をこまめに消灯する ●待機電力を減らす ●冷暖房の温度を適切にする ●自動車をなるべく使わない ●自動車を低公害車に切り替える ●アイドリングストップをする 	<ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー消費を適正に管理する ●省エネタイプの機器に切り替える ●冷暖房の温度を適切にする ●自動車を低公害車に切り替える ●アイドリングストップをする 	<ul style="list-style-type: none"> ●冷暖房の温度を適切にする ●庁有車を低公害車に切り替える ●クリーンエネルギーの導入 ●グリーン購入の推進 ●自転車関連施設の整備 ●情報提供及び普及啓発

*:2010年度のエネルギー消費量を1990年度と同程度とすることで、2%削減が可能です。

3

私たちは、まず杉並から「有害化学物質」を減らしていきます

私たちは区民に健康被害を与え、また、その影響が将来的に残る有害化学物質を減らし、健康で安全な生活を送ることのできるまちを目指します。



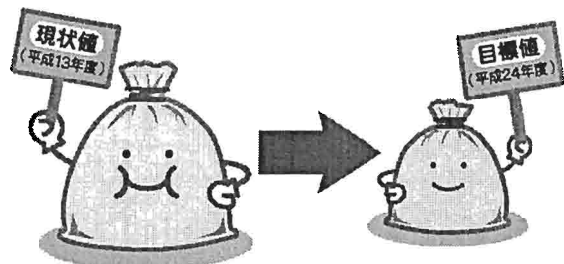
具体的取組みの例	区民は	事業者は	行政は
	<ul style="list-style-type: none"> ●「野焼き」*を行わない ●小型焼却炉を使用しない ●有害化学物質に関する正しい情報を得る ●有害化学物質が使用されている製品を買わない 	<ul style="list-style-type: none"> ●有害化学物質を適正に管理し、P RTR法[*]を遵守する ●有害化学物質の使用を抑制する ●有害化学物質を含まない製品を開発する ●販売店回収を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●有害化学物質を扱う事業者の指導監督 ●公共施設のシックハウス・シックスクールの予防 ●大気、水質の定期的な調査 ●「野焼き」抑制指導強化 ●小型焼却炉の無料回収

*:焼却炉を用いない廃棄物の屋外焼却をいう。

2

1人1日あたりのごみ量を東京都で最少にし、さらに平成13年度比で40%削減を目指します

平成13年度の区民1人1日あたりのごみ排出量は、715gで、東京23区の中でも少ない方から5位にあたります。私たちは今後、ごみ減量を一層進め、このごみ量を東京都で最少にし、さらに2012年度(平成24年度)までに40%削減を目指します。なお、最少は23区で江戸川区が695g、都下市町村では東久留米市が532gとなっています。



区民1人1日あたりのごみ排出量*
715g

区民1人1日あたりのごみ排出量
東京都で最少→40%削減

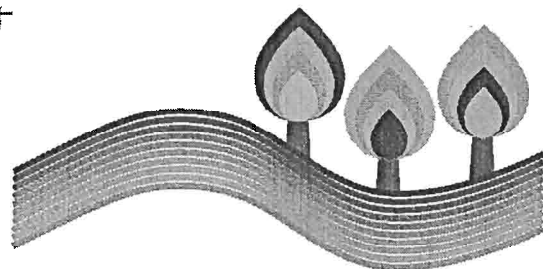
具体的取組みの例	区民は	事業者は	行政は
	<ul style="list-style-type: none"> ●不要なものを買わない ●分別を徹底する ●リサイクル製品を購入する ●買物はマイバッグを持参する ●生ごみを堆肥化し、使用する ●フリーマーケット等を活用して、再使用に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ●資源化しやすい製品を開発する ●過剰包装をしない ●販売店回収を行う ●紙類は再資源化するために分別する 	<ul style="list-style-type: none"> ●分別収集を強化する ●ごみの発生抑制・再使用を働きかけ、資源化を進める ●拡大生産者責任の働きかけを行う ●区民、事業者に対して情報提供を行う

*:可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの総量で、区清掃事務所収集分。

4

善福寺川、神田川沿いのみどりを中心に、杉並区をみどりの道でつなぎます

私たちは善福寺川、神田川沿いのみどりを中心に街路樹や生け垣、緑道等のみどりをつなぎ、みどりと水のネットワークの形成を図り、自然環境を保全育成します。



具体的取組みの例	区民は	事業者は	行政は
	<ul style="list-style-type: none"> ●接道部を緑化する ●屋上・壁面緑化を進める ●生け垣をつくる ●地域の緑化活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所の接道部を緑化する ●屋上・壁面緑化を進める ●緑化計画を立てる ●商店会等で緑化活動を行う ●駐車場の緑化を行う ●農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ●緑化活動を支援する ●公共施設を緑化する ●街路樹を整備する ●ピオトープを整備する ●公園の整備 ●緑地としての農地の保全

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標Ⅰ 持続的発展が可能なまちをつくる

取組みの方向1 地球温暖化防止への取組み

1 温室効果ガス削減への取組み

環境目標	目標値	達成年度	15年度末の状況
二酸化炭素排出量	2%削減 (1990年度ベース)	平成22年度 (2010年度)	26.9%増 (2005年(平成17年度)調査)

2 温暖化防止・省エネ行動実践の仕組みづくり

環境目標	目標値	達成年度	17年度の状況
家庭・事業所における省エネルギー意識・行動の実践	家庭 日頃から省エネを心がけている 約40%	平成22年度	80% (省エネに関心を持つ人の割合) 38% (ともに17年度調査)
	事業所 エネルギー使用量を何らかの形で把握している 約40%		

■ 取組みの方向2 循環型社会を目指す取組み

1 ごみの発生抑制

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
区民1人1日あたりのごみ排出量	40%削減 429g/人/日	平成24年度	672g/人/日

3 資源の回収

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
リサイクル率	43.0%	平成24年度	19.7%

〈行政の具体的取組み〉 — 目標設定のある主な計画事業 —

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
省エネ行動の実践・行政の率先行動	ISO14001の推進	62目標	平成17年度	47目標達成(77%)
	地球温暖化対策実行計画推進	7.6%削減 1999年度ベース	平成17年度	—
自動車交通量の抑制	自転車駐車場	30,759台	平成22年度	31,641台
	バス路線	新規2路線	平成22年度	2路線(阿佐谷～浜田山・浜田山～下高井戸)
省エネ行動の取組み支援	機器設置補助	45件	平成17年度	太陽光発電機器40件
(仮称)省エネ推進委員会によるマネジメント	調査・進行管理・報告	年次報告	各年度	17年3月 地域省エネルギー等懇談会設置
草の根型省エネ行動の展開と支援	普及啓発・情報交換	実施	各年度	普及啓発:実施 情報交換:検討
温暖化防止・省エネの情報提供、普及啓発	イベント等の開催	1回/年	各年度	毎年度 環境博覧会開催
ごみ会議の開催	ごみ会議の開催	継続実施	各年度	3回開催
マイバッグの普及促進	マイバッグの普及促進	継続実施	各年度	作品展 1回開催 製作教室 2回開催 キャンペーン 2回開催
再生品の積極的な利用	再生品利用率	100%	平成17年度	99.9%
区施設へのペットボトル回収拠点の拡大	ペットボトル回収率	回収率向上	平成17年度	回収拠点 408箇所 回収量 677,920kg
みどりのリサイクルの推進	・みどりのリサイクルプログラム ・落ち葉のコンポスト化 ・剪定枝の有効利用	策定 推進 拡充 拡充	平成15年度 平成17年度 各年度 各年度	計画策定 拡充(3箇所 累計16箇所) 拡充
廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業	廃プラスチック収集量	本格実施	平成17年度	7,760世帯 85t

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標Ⅱ 健康と暮らしの安全を守るまちをつくる

■ 取組みの方向1 有害化学物質を減少させる取組み

1 有害化学物質減少への取組み

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
野焼き件数	0件	平成22年度	36件

3 化学物質の適正管理

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
適正管理化学物質の情報	公表	平成16年度	情報収集

■ 取組みの方向2 大気への負荷を軽減させる取組み

1 大気汚染の状況を調べる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
二酸化窒素濃度年平均値 (区役所測定ポイント)	0.030ppm	平成22年度	0.037ppm

4 光化学スモッグなどによる健康被害を防ぐ

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
光化学被害届出者数	0人	各年度	16人

■ 取組みの方向3 水質の汚濁を防ぐ取組み

1 水質の汚濁の状況を調べる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
地下水調査地点数	継続実施	各年度	28箇所

■ 取組みの方向4 騒音・振動を防ぐ取組み

1 自動車・鉄道による騒音・振動を防ぐ

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
騒音・振動測定	継続実施	各年度	継続実施

■ 取組みの方向5 その他の公害などを防ぐ取組み

4 電磁波問題への対応

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
電磁波情報	周知	随時	情報提供

〈行政の具体的取組み〉 — 目標設定のある主な計画事業 —

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
ダイオキシン類などの有害化学物質の調査の実施	ダイオキシン類調査	継続実施	各年度	継続実施
	有害化学物質調査	調査地点数増加後、継続	各年度	2地点
廃棄物の新たな処理制度の確立	制度	制度確立	平成15年度	落葉無料収集実施
	野焼き件数	0件	平成22年度	36件
室内環境調査の実施	揮発性有機化合物	100件/年	各年度	142件/年
酸性雨測定調査の実施	大気汚染測定	継続実施	各年度	4箇所
	自動車排出ガス測定			20箇所
	自動車交通量調査			5箇所・隔年
	酸性雨測定			1箇所
庁有車の使用抑制、低公害車への転換促進	庁有車の低公害車化	100%	平成22年度	59.9%
自転車や徒歩、公共交通機関の利用環境の整備	自転車駐車場	30,759台	平成22年度	31,641台
区民・事業者の自動車使用抑制の啓発	自動車使用抑制の普及啓発	実施	平成17年度	実施
低公害車の導入促進助成	低公害車の導入助成	延べ30台	平成17年度	1台
南北バス交通の拡充	バス路線	新規2路線	平成22年度	2路線

施策・事業	指 標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
定期河川水質調査の実施	調査地点数	継続実施	各年度	5地点 年4回
地下水(井戸水)総合汚染調査の実施	地下水調査地点数	継続実施	各年度	28箇所
自動車走行騒音・振動測定調査の実施	騒音・振動測定	継続実施	各年度	継続実施
鉄道騒音・振動の測定調査の実施	測定調査	継続実施	各年度	継続実施

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標Ⅲ 自然環境が保全され、さまざまな生き物が生息できるまちをつくる

取組みの方向1 連続したみどりを保全・創出する取組み

1 制度をととのえ、みどりを守る心をつなげる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
区 の 緑 被 率	25.0% (みどりの基本計画)	平成30年度	20.9% (平成14年度調査)

2 みどりと水のネットワークをつくる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
緑地率	15.0%	平成30年度	10.4%
接道部緑化率	20.0%	平成30年度	19.5% (平成14年度調査)

3 樹林や農地を守る

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
保護樹林指定面積	67ha	平成22年度	61.4ha

4 さまざまな生き物が生息できるみどり豊かな公園などをつくる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
一人あたりの公園 計画面積	5㎡/人	平成30年度	1.8㎡/人

5 公共施設のみどりをふやす

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
公共施設の緑化面積	拡大	平成22年度	26.16ha (平成14年度調査)

取組みの方向2 自然生態系の調査の取組み

1 みどりと自然を調査する

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
基礎資料収集	昆虫類・クモ類・植生・鳥類・ 小動物・河川生物	平成17、18年度 平成22、23年度	5年ごとに2年間実施

《行政の具体的取組み》 — 目標設定のある主な計画事業 —

施策・事業	指 標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
みどりのボランティア活動への支援	みどりのボランティア数	延べ1,350名	平成22年度	延べ390名
みどりの基金の運営	積み立て・運用	積立金5億円	平成22年度	5,952,308円
みどりのベルトの創出とビオトープのネットワーク化	みどりのベルトづくり	みどりのベルト 計画の策定・事業 実施	平成16年度	みどりのベルトづくり、 みどりのベルト計画策 定
雨水浸透施設設置の推進と湧水の保全	透水性舗装の整備面積	60,000㎡	平成22年度	16,347㎡ 累計37,256㎡
水路敷(水のみち)の整備	水路敷の整備面積	13,085㎡	平成22年度	11,602㎡
屋敷林、寺社林、樹林地等の保護指定	保護樹林指定面積	67ha	平成22年度	61.4ha
地域公園の整備	区民一人あたりの地域公園面積	0.66㎡/人	平成30年度	0.39㎡/人
	地域公園の整備状況	23.3ha	平成22年度	19.8ha(7園)

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
身近な公園の整備	区民一人あたりの身近な公園面積	1.5 m ² /人	平成 30 年度	0.63 m ² /人
	身近な公園の整備状況	33.7ha (294 園)	平成 22 年度	32.3ha (290 園)
	特色ある公園づくり	花の名所づくり 7か所 コース整備 15 コース	平成 22 年度	花の名所づくり 7か所 コース整備 6 コース
	公園のリフレッシュ	20 園	平成 22 年度	6 園 累計 8 園
学校等のエコアップ	学校ビオトープ	20 校	平成 22 年度	2 校 累計 9 校
	接道部緑化	2,600m	平成 22 年度	157.7m 累計 741.6m
	校庭緑地化	20 校	平成 22 年度	1 校 累計 4 校
公共施設の接道部緑化	接道部緑化	1,000m	平成 22 年度	0m 累計 144.5m
樹木や生け垣等の保護指定	保護樹木指定本数	1,900 本	平成 22 年度	1,673 本
	保護生け垣指定延長	6,000m	平成 22 年度	5,832.68m
貴重木の保全協定	貴重木の指定	50 本	平成 22 年度	47 本
塀の生け垣化やフェンス緑化などへの助成	接道部緑化助成	5,000m	平成 22 年度	250.45m 累計 640.54m
屋上・壁面緑化などへの助成	屋上・壁面緑化助成	5,175 m ²	平成 22 年度	280.9 m ² 累計 1096.5m
みどりの実態調査の実施	調査頻度	5 年ごとに調査	平成 19 年度	今回は 19 年度
動植物生息状況調査等の実施	調査頻度	5 年ごとに調査・報告	17、18 年度 22、23 年度	5 年ごとに 2 年間実施
親水プロムナード(散歩道)の整備	親水プロムナード(散歩道)整備延長	20,995 m ²	平成 22 年度	93,432 m ² 河川内施設整備 1 箇所を実施
自然型河川の整備	水辺環境整備	調査研究	平成 17 年度	日常の維持管理・調査
井戸を活用し、水に親しめる場の整備	水に親しめる場の整備状況	継続実施	平成 22 年度	公園 9 園 (10 基)
生き物生息場所の保全と創出	野生動植物の生息場所の保全状況	保全 2 創出 14	平成 22 年度	保全 1 創出 2
みどりの相談所等緑化相談の充実	相談所の設置	井草森公園で相談業務開始	平成 17 年度	井草森公園に図書コーナー設置

施策・事業	指 標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
緑化、自然環境の知識の普及、啓発	みどりの講座	継続実施	各年度	4 回
体験型農園の整備	体験型農園数 申込者、利用者数	3 園 200 区画 (人)	平成 22 年度	1 園 100 区画 (人)
体験学習の拡充	体験学習実施数	68 回(小中学校等 各 1 回)	各年度	68 回
ふれあい農業体験の充実	ふれあい農業体験実施 回数、申込者・参加者数	継続実施	各年度	1 回 39 人
農業ボランティアの支援・拡充	農業ボランティア数	継続実施	各年度	28 人
	受入農家数	継続実施	各年度	7 農家
区民農園・果樹園等の運営・拡充	区民農園(区画数)	2,500 区画	平成 22 年度	1756 区画
	果樹園数(本数)	継続実施	各年度	閉園
	団体利用数	継続実施	各年度	区民農園 20 団体

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標Ⅳ 魅力ある快適なまちなみをつくる

取組みの方向1 美しく清潔なまちへの取組み

1 地域の美化をすすめる

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
杉並区が美しいと思う人の割合	60%	平成22年度	62.8% (平成15年度調査)

取組みの方向2 個性と美・やすらぎに満ちたまちなみをつくる取組み

1 自然的、歴史的、文化的景観資源を守り、生かす

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
自然的・歴史的・文化的景観資源	現状の維持・存続	平成22年度	建造物や樹木等文化財指定・登録調査 4件

2 景観に配慮した道路・公園や水辺の整備

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
美化活動 延べ参加人数	1万人以上	各年度	10,567人

4 商店街の景観まちづくりの推進

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
アーケード・透水性カラー舗装等設備整備	2箇所増設	平成22年度	1箇所(松山通り) 測量設計1箇所(西荻南二丁目)
アーケード・透水性カラー舗装等整備計画策定	2箇所増設	平成22年度	1箇所

《行政の具体的取組み》 — 目標設定のある主な計画事業 —

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
ごみ集積所が適正に管理できる取組み	カラスによる被害の減少	ごみ散乱防止策の確立	平成18年度	夜間収集モデル事業 JR4駅周辺 折り畳み式ごみ収集ボックス 166基 カラスネット 1,556枚 集合住宅等対策 大規模建築物届出 (1000㎡以上) 53件 立入調査 57件
放置自転車など不法占有物の撤去及び指導	放置自転車数	4,512台(50%削減)	平成17年度	5,982台
	放置防止協力員	18駅	平成22年度	15駅
犬、猫等の飼い方の指導・啓発	適正飼養の普及啓発冊子	継続実施	各年度	8,000冊
	犬及び猫のマナープレート	継続実施	各年度	800枚
	しつけ方教室	継続実施	各年度	1回/年 40人
歴史的建造物等に対する文化財指定登録の調査及び保全	建造物や樹木等文化財指定・登録調査	10件	平成22年度	4件
まちかどの修景整備	まちかど修景整備	10か所	平成22年度	3か所

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
生活道路等の景観整備	幹線道路等の景観整備	17,650 m ²	平成 22 年度	7,340.0 m ²
	主要生活道路等の景観整備	663m	平成 17 年度	歩道設置 110.4m 歩道改良 363.8m 段差改良 13 箇所
	駅前広場等周辺の景観整備			荻窪駅南口地下通路 荻窪駅西口連絡橋
景観まちづくりの実施	大田黒公園周辺地区まちづくりイベントの開催	継続実施	各年度	1 回/年
	まちづくりニュースの発行	継続実施	各年度	1 回/年
	街なみ環境整備の推進	継続実施	平成 18 年度	継続実施
	まちづくりシンポジウムの開催	継続実施	各年度	1 回/年
買い物道路の整備	買い物道路の整備延長	阿佐ヶ谷 360m	平成 15 年度	361.3 m
		永福 760m	平成 17 年度	—
		西荻窪 540m	平成 17 年度	—
魅力ある商店街づくり助成	アーケード・透水性カラー舗装等施設整備	2 か所増設	平成 22 年度	1 箇所（松山通り） 測量設計 1 箇所 （西荻南二丁目）
	アーケード・透水性カラー舗装等整備計画策定	2 か所増設	平成 22 年度	1 箇所
街路灯の整備	街路灯整備数	830 灯増設 (14 年度末比)	平成 22 年度	40 灯増設 累計 223 灯
杉並「まち」デザイン賞の実施	杉並「まち」デザイン賞の表彰	継続実施	3 年度毎	今回は 18 年度
杉並景観録の発行	杉並景観録の発行	継続実施	各年度	1 回/年
景観ガイドラインの策定	景観ガイドライン	策定	平成 18 年度	調査・検討
イベント、史跡めぐり等の実施、地域活動等の支援	杉並郷土芸能大会	継続実施	各年度	1 回/年
	史跡散歩助成	継続実施	各年度	1 回/年

「基本目標実現のための取組み」の実施状況

基本目標Ⅴ 区民、事業者、区が、ともに環境を考え、行動するまちをつくる

取組みの方向1 4つの目標への挑戦 ※ 4ページ・5ページをご参照ください。

取組みの方向2 参加と協働のための仕組みづくり

1 「すぎなみ環境カエルくらぶ」の運営と拡大の支援

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
すぎなみ環境カエルくらぶ参加人数	1,700人	平成22年度	157人

2 環境情報や活動のネットワークを創る

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
(仮称)環境・リサイクルセンター利用団体数	30団体	平成22年度	26団体

3 人材育成と活用

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
環境リーダーの登録数	120名	平成22年度	130名

4 環境教育、環境学習、環境活動の充実

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
調査隊、探検隊、行動隊などの数	30	平成22年度	82

5 子どもへの環境教育の充実

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
専門教材による環境学習(キッズISO)参加者	3,000名	平成22年度	2,816名

7 環境保全対策の評価・点検・見直し

環境目標	目標値	達成年度	16年度末の状況
環境白書の発行	隔年発行で進捗状況を報告する 主要目標については毎年、進捗状況を報告する	平成15年度開始	平成16年度版 (資料編)発行 (平成16年10月)

《行政の具体的取組み》 — 目標設定のある主な計画事業 —

施策・事業	指標	目標値	目標年度	16年度末の実施状況
環境博覧会の開催	環境博覧会	継続開催	各年度	16年度で4回目の開催 来場者15,818人
(仮称)環境・リサイクルセンターの活用	(仮称)環境・リサイクルセンター	有効活用	16年度	16年4月1日、「すぎなみ環境情報館」として運営開始
杉並環境マップに情報交換「広場」の立ち上げ・活用	杉並環境マップ	運営	一部15年度 18年度	広場…検討 環境マップ…16年4月より、区公式ホームページ内に公開
環境学習講座の開催とリーダーの養成	環境リーダー数	120名	22年度	130名
自然観察会の実施	自然観察会の実施	4回/年	各年度	4回/年
杉並環境マップの作成と活用	杉並環境マップ	実施	一部15年度 18年度	16年4月より、区の公式ホームページ内に、「環境マップ」を公開
情報誌「すぎなみの街と自然」の幅広い発行	情報誌の発行	拡大発行	16年度	3回/年発行

杉並区環境基本計画 計画施策・事業の一覧

基本目標 / 取組みの方向 / 取組みの方向性 / 施策・事業		目標の設定	目標年度
取組みの方向性 1	温室効果ガス削減の取組み ○省エネ行動の実践・行政の率先行動 ○自動車交通量の抑制	数値目標 数値目標	17年度 22年度
取組みの方向性 2	温暖化防止・省エネ行動実践のための仕組みづくり ○省エネ行動の取組み支援 ○(仮称)省エネ推進委員会によるマネジメント ○草の根型省エネ行動の展開と支援 ○温暖化防止・省エネの情報提供、普及啓発 ○学校における省エネ学習	数値目標 活動目標 活動目標 活動目標	17年度 各年度 各年度 各年度
取組みの方向性 1	ごみの発生抑制 ○ごみの減量に寄与する機器の普及 ○粗大ゴミを再利用するシステムの検討 ○廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の全区での実施検討 ○ごみ減量の普及啓発 ○ごみ会議の開催 ○マイバッグの普及促進 ○過剰包装の抑制	— — — — — 活動目標 活動目標	— — — — — 各年度 各年度
取組みの方向性 2	再生品の利用促進 ○区民・事業者への再生品利用の啓発 ○再生品の販売の要請 ○杉並ブランドの再生品の検討 ○再生品の積極的な利用	— — — 数値目標	— — — 17年度
取組みの方向性 3	資源の回収 ○ごみ分別徹底の啓発 ○区施設へのペットボトル回収拠点の拡大 ○業回収の仕組みづくり ○生ごみの資源化の検討 ○みどりのリサイクルの推進 ○家具類の再利用 ○廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業 ○拡大生産者責任に基づいた事業活動の要請	— 活動目標 — — 活動目標 — 活動目標	— 17年度 — — 17年度 — 17年度
取組みの方向性 1	有害化学物質減少への取組み ○ダイオキシン類などの有害化学物質の調査の実施 ○有害化学物質取扱事業所の規制・指導 ○廃棄物の新たな処理制度の確立 ○小型焼却炉の実態把握と無料回収の継続実施 ○「特定家庭廃棄物」への対応	活動目標 — 活動目標 — —	各年度 — 22年度 — —
取組みの方向性 2	情報の収集と提供 ○情報の収集と提供、区民・事業者との情報交流の推進	—	—
取組みの方向性 3	化学物質の適正管理 ○適正管理化学物質の届出指導等の徹底 ○区内の有害化学物質等の動きの把握、データの公表	— —	— —
取組みの方向性 4	建物から出る有害化学物質の対策(シックハウス・シックスクール対策) ○民間建築物への誘導・支援 ○室内環境調査の実施 ○区施設の建築、改築に伴う対策の強化 ○石綿の適正処理の指導	— 活動目標 — —	— 各年度 — —
取組みの方向性 1	大気汚染の状況を調べる ○大気汚染常時測定調査の充実 ○自動車排出ガス測定調査の実施 ○自動車交通量調査の実施 ○酸性雨測定調査の実施 ○区民・事業者による大気汚染調査の支援	— — — — — 活動目標	— — — — — 各年度
取組みの方向性 2	自動車による大気汚染を防ぐ ○庁有車の使用抑制、低公害車への転換促進 ○自転車や徒歩、公共交通機関の利用環境の整備 ○区民・事業者の自動車使用抑制の啓発 ○低公害車の導入促進助成 ○南北バス交通の拡充	数値目標 数値目標 活動指標 数値目標 数値目標	22年度 22年度 17年度 17年度 22年度
取組みの方向性 3	事業所などによる大気汚染を防ぐ ○区立施設における大気汚染の防止 ○大気汚染防止の指導の強化 ○経営活性化資金融資制度の紹介	— — — —	— — — —
取組みの方向性 4	光化学スモッグなどによる健康被害を防ぐ ○光化学スモッグ発生連絡体制の整備 ○健康被害等に対する対策の実施 ○庁有車の使用抑制、低公害車への転換促進【再掲】 ○炭化水素類の蒸発防止装置の設置指導	— — — — 数値目標	— — — — 22年度
取組みの方向性 1	水質の汚濁の状況を調べる ○定期河川水質調査の実施 ○地下水(井戸水)総合汚染調査の実施 ○区民・事業者による水質汚濁調査の支援	— 活動目標 活動目標	— 各年度 各年度
取組みの方向性 2	事業所排水や家庭排水による水質汚濁を防ぐ ○区立施設における水質汚濁の防止 ○水質汚濁防止の指導の強化 ○生活廃水等による水質汚濁防止の啓発 ○河川への汚水流入を防ぐ方策の検討	— — — — —	— — — — —
取組みの方向性 1	自動車・鉄道による騒音・振動を防ぐ ○自動車走行騒音・振動測定調査の実施 ○幹線道路沿道整備事業の推進 ○低騒音舗装の実施 ○生活道路の通過交通対策の実施 ○鉄道騒音・振動の測定調査の実施	— — — — — 活動目標	— — — — — 各年度
取組みの方向性 2	事業所・建設作業・生活の騒音・振動を防ぐ ○騒音・振動防止の指導の強化 ○近隣騒音・生活騒音防止の啓発	— — —	— — —
取組みの方向性 1	悪臭を防ぐ ○悪臭防止の指導の強化 ○日常生活などにおける悪臭防止の啓発	— —	— —
取組みの方向性 2	土壌汚染を防ぐ ○土壌汚染の有無の確認 ○土壌汚染防止の指導の強化	— —	— —
取組みの方向性 3	地盤沈下を防ぐ ○地下水の揚水規制の強化等	—	—

杉並区環境基本計画 計画施策・事業の一覧

基本目標 / 取組みの方向	取組みの方向性	施策・事業	目標の設定	目標年度
取組みの方向性 4	電磁波問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○電磁波の最新情報の収集と提供 ○機器による測定 	—	—
取組みの方向性 1	制度をどとのえ、みどりを守る心をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ○緑化助成制度の充実 ○みどりのボランティア活動への支援 ○みどりの基金の運営 ○みどりのリサイクルの推進【再掲】 ○みどりの表彰制度の創設 ○みどりの条例などの見直し 	数値目標 活動目標 活動目標	— 22年度 22年度 17年度等
取組みの方向性 2	みどりと水のネットワークをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりのベルトの創出とビオトープのネットワーク化 ○みどりのモデル地区の整備 ○公園整備や道路・河川緑化の推進 ○雨水浸透施設設置の推進と湧水の保全 ○水路敷(水のみち)の整備 	活動目標 数値目標 数値目標	16年度 — 22年度 22年度
取組みの方向性 3	樹林や農地を守る	<ul style="list-style-type: none"> ○屋敷林、寺社林、樹林地等の保護指定 ○緑地保全地区の指定検討 ○農地の保全・活用(生産緑地等の維持、拡充) ○都市農業の振興 	数値目標 — — —	22年度 — — —
取組みの方向性 4	さまざまな生き物が生息できるみどり豊かな公園などをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○地域公園の整備 ○身近な公園の整備 ○公園の生態的管理の推進 	数値目標 数値目標 —	22年度 22年度 —
取組みの方向性 5	公共施設のみどりをふやす	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設緑化基準の充実 ○学校等のエコアップ ○公共施設の接道部緑化 	— 数値目標 数値目標	— 22年度 22年度
取組みの方向性 6	住宅や事務所等のみどりを守り、ふやす	<ul style="list-style-type: none"> ○樹木や生け垣等の保護指定 ○貴重木の保全協定 ○寄付樹木制度の充実 ○緑化指導の充実 ○風致地区のみどりの充実 ○塀の生け垣化やフェンス緑化などへの助成 ○屋上・壁面緑化などへの助成 ○苗木、花の種等の配布 ○みどりの協定の締結促進 ○みどりのボランティア活動への支援【再掲】 	数値目標 数値目標 — — 数値目標 数値目標 — 数値目標	22年度 22年度 — — 22年度 22年度 — 22年度
取組みの方向性 1	みどりと自然を調査する	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりの実態調査の実施 ○動植物生息状況調査等の実施 ○区民による調査の推進 ○報告書等の発行 	活動目標 活動目標 —	19年度 17年度等 —
取組みの方向性 1	水などにふれあう場をふやす	<ul style="list-style-type: none"> ○親水プロムナード(散歩道)の整備 ○自然型河川の整備 ○井戸を活用し、水に親しめる場の整備 	数値目標 活動目標 活動目標	22年度 17年度 22年度
取組みの方向性 2	みどりや自然と親しむ施設をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○野生動植物の生息場所の保全と創出 ○市民緑地の設置 ○(仮称)自然学習センターの設置の検討 ○区営苗圃の区民活動の場としての活用 ○区民による公園花壇等の管理の推進(花咲かせ隊など) 	数値目標 — — —	22年度 — — —
取組みの方向性 3	みどりや自然にふれあい、知識をふやす	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりの相談所等緑化相談の充実 ○緑化、自然環境の知識の普及、啓発 ○自然観察会などの開催 	活動目標 活動目標 —	17年度 各年度 —
取組みの方向性 4	交流型農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型農園の整備 ○体験学習の拡充 ○ふれあい農業体験の充実 ○農業ボランティアの支援・拡充 ○区民農園・果樹園等の運営・拡充 	数値目標 活動目標 活動目標 活動目標 数値目標	22年度 各年度 各年度 各年度 22年度
取組みの方向性 1	地域の美化をすすめる	<ul style="list-style-type: none"> ○区民・事業者と協働した、まちのクリーン化事業への取組み ○「清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例」の改正・施行 ○道路、公園、公共建築物等の清掃・補修等 ○ごみ集積所が適正に管理できる仕組み ○カラス対策 ○放置自転車など不法占有物の撤去及び指導 ○犬、猫等の飼い方の指導・啓発 ○屋外広告物の指導 ○民有空き地等の適正管理の指導 ○害虫等の防除 	— — 活動目標 数値目標 活動目標	— — 18年度 — 17年度 各年度 — —
取組みの方向性 1	自然的、歴史的、文化的景観資源を守り、生かす	<ul style="list-style-type: none"> ○自然的景観資源の保全と活用 ○歴史的建造物等に対する文化財指定登録の調査及び保全 	数値目標	22年度
取組みの方向性 2	景観に配慮した道路・公園や水辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○まちかどの修景整備 ○生活道路等の景観整備 ○区民・事業者と協働した、まちのクリーン化事業への取組み【再掲】 	数値目標 数値目標 —	22年度 22年度等 —
取組みの方向性 3	地域の個性を生かした景観まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○景観まちづくりの実施 	活動目標	各年度
取組みの方向性 4	商店街の景観まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物道路の整備<商店街の景観形成の支援> ○魅力ある商店街づくり助成 ○街路灯の整備 	数値目標 数値目標 数値目標	15年度等 22年度 22年度
取組みの方向性 5	景観に配慮した建築物・工作物の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○建築協定等による景観整備の促進 ○大規模プロジェクトに対する景観誘導 ○公共建築物による景観整備 	— — —	— — —
取組みの方向性 6	景観まちづくりの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○杉並「まち」デザイン賞の実施 ○杉並景観録の発行 ○景観ガイドラインの策定 ○イベント、史跡めぐり等の実施、地域活動等の支援 	活動目標 活動目標 活動目標 活動目標	3日目毎 各年度 18年度 各年度

杉並区環境基本計画 計画施策・事業の一覧

基本目標 / 取組みの方向 / 取組みの方向性 / 施策・事業		目標の設定	目標年度
取組みの方向性 1	二酸化炭素の排出量について、2010年度までに1990年度比で2%削減を目指します ○事業者としての発生抑制行動の率先的な取組み【再掲】 ○自動車交通量の抑制【再掲】	数値目標 数値目標	17年度 22年度
取組みの方向性 2	1人1日あたりのごみ排出量を東京都で最少にし、さらに平成13年度比で40%削減を目指します ○ごみの排出抑制 ○生ごみの資源化への取組み ○粗大ゴミを再利用するシステムの検討【再掲】 ○廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の全区での実施検討【再掲】 ○ごみ減量の普及啓発【再掲】 ○ごみ会議の開催【再掲】 ○マイバッグの普及促進【再掲】 ○過剰包装の抑制【再掲】	— — — — — — 活動目標 活動目標 —	— — — — — — 各年度 各年度 —
取組みの方向性 3	私たちは、まず杉並から「有害化学物質」を減らしていきます ○公共施設のシックビル症候群の防止 ○ダイオキシン類などの有害化学物質の調査の実施【再掲】 ○廃棄物の新たな処理制度の確立【再掲】 ○小型焼却炉の実態把握と無料回収の継続実施【再掲】 ○ダイオキシン等の有害化学物質の情報提供 ○「特定家庭廃棄物」への対応 ○室内環境調査の実施【再掲】	— 活動目標 活動目標 — — — 活動目標	— 各年度 22年度等 — — — 各年度
取組みの方向性 4	善福寺川・神田川などのみどりを中心に、杉並区をみどりの道でつなぎます ○みどりの回廊をつくるための学校等へのみどりの「島」づくり ○環境指標動植物指定と調査	数値目標 —	22年度等 —
取組みの方向性 1	「すぎなみ環境カエルくらぶ」の運営と拡大の支援 ○すぎなみ環境カエルくらぶの支援と参加 ○顕彰制度の導入 ○多様な行動プラン・参加型イベントの支援	— — — —	— — — —
取組みの方向性 2	環境情報や活動のネットワークを創る ○環境博覧会の開催 ○(仮称)環境団体等連絡会の設置と支援 ○(仮称)環境・リサイクルセンターの活用 ○杉並NPO・ボランティア活動推進センターの運営支援 ○杉並環境マップに情報交換「広場」の立ち上げ・活用	活動目標 — 活動目標 — 活動目標	各年度 — 16年度 — 18年度等
取組みの方向性 3	人材育成と活用 ○環境学習講座の開催とリーダーの養成 ○すぎなみ環境カエルくらぶとの連携	数値目標 —	22年度 —
取組みの方向性 4	環境教育、環境学習、環境活動の充実 ○(仮称)「環境白書を読む会」への参加 ○調査隊、探検隊、行動隊編成・活動の支援 ○環境マネジメントシステム導入の支援 ○環境学習教室の開催 ○清掃車(カッター)の出前学習 ○(仮称)簡易環境家計簿の発行 ○省エネナビの推進・支援	— — — — — — — — —	— — — — — — — — —
取組みの方向性 5	子どもへの環境教育の充実 ○環境教育の充実 ○子ども環境教室の開催 ○ホームページ「環境学習室」の充実 ○こどもエコクラブへの取組み支援 ○キッズISOへの取組み支援 ○総合的学習の時間等における環境教育の支援 ○自然観察会の実施	— — — — — — — 活動目標	— — — — — — — 各年度
取組みの方向性 6	環境情報の収集・共有化と提供 ○区民による環境情報の収集・支援 ○指標動植物の調査の支援 ○杉並環境マップの作成と活用 ○情報誌「すぎなみの街と自然」の幅広い発行 ○区内の有害化学物質等の動きの把握、データの公表【再掲】	— — — 活動目標 活動目標 —	— — — 18年度等 16年度 —
取組みの方向性 7	環境保全対策の評価・点検・見直し ○環境審議会による環境基本計画の進捗状況確認 ○杉並環境マップ上に区民意見用「広場」の開設【再掲】 ○表彰制度の導入 ○環境影響評価制度の活用	— — 活動目標 — —	— — 18年度等 — —



**杉並区環境基本計画
実施状況報告書
【平成17年度版】**

平成 18年6月発行

編集・発行 杉並区 環境清掃部 環境課